

ブラジル金融政策（2025年3月）

1%ptの利上げで政策金利は2016年以来の高水準に

2025年3月21日

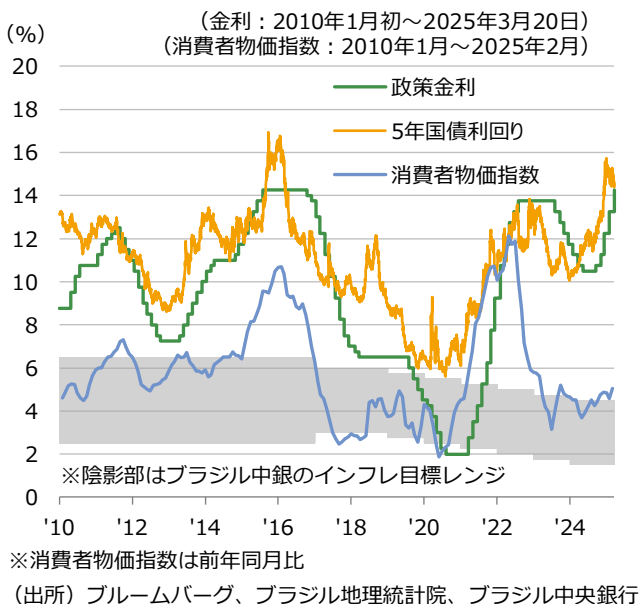
利上げ局面は続くが、次回は利上げ幅を縮小する方針

ブラジル中央銀行は3月18～19日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を13.25%から14.25%に引き上げることを決定しました。利上げは昨年9月から5会合連続、利上げ幅は前回会合で示唆していた通り過去2回と同じ1%ptです。

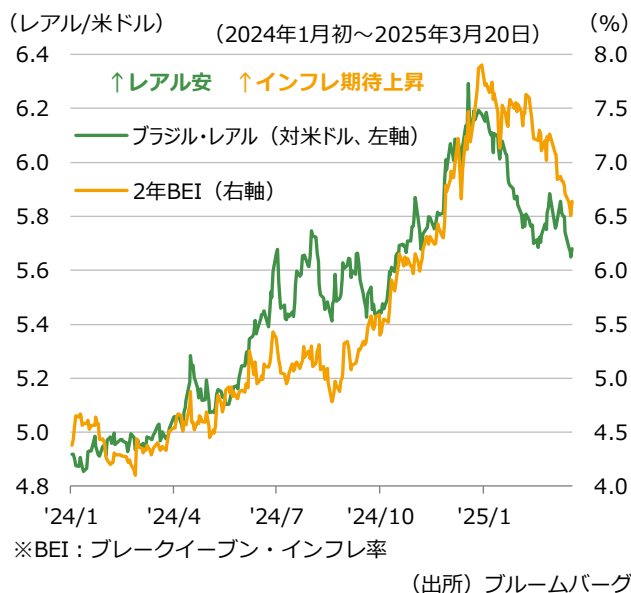
声明文では、「インフレ期待の高さや経済活動の底堅さ、労働市場のひっ迫が、より引き締めの金融政策を必要としている」と利上げ決定の理由を説明しています。もっとも、足元の指標は経済の減速傾向を示しており、ブラジル中銀は控えめながらも「成長減速の始まりを示唆するシグナルが観測されている」と表現しました。また、年初からの通貨高などもあって市場のインフレ期待は低下に転じています。このようにインフレへの過度な懸念が和らぐ中で、次回は「より小さな規模での調整を予想する」と利上げ幅の縮小を示唆しました。具体的に次回5月会合の利上げ幅が0.75%ptになるか0.5%ptになるか、またその後どこまで利上げするかは、財政政策を含めて今後のデータ次第という姿勢ですが、直近の市場予想である5月の0.5%pt、6月の0.25%ptの利上げ（到達点は15%）と大きな齟齬はない印象です。

為替市場では、年初からブラジル・レアル高（米ドル安）の傾向が続いています。今後もブラジル中銀の利上げが金利面でのレアルの投資妙味を高めると考えられる一方、中銀が昨年終盤にレアル買いの為替介入で取り崩した外貨準備の積み上げに動くことで、レアル高のペースは鈍化することが見込まれます。

ブラジルの金利とインフレ率



ブラジル・レアル（対米ドル）とインフレ期待



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management